

第五卷索引

アの部

怪しむべき三個のBD星	一〇
緯度を測定する一方法	六五
異状なる空の色	八三
隕石	
隕石の雨	一二九
隕石落下せしか	一三一
黃道光と夏季の北天薄明との關係	一二九

カの部

火 星	
火星の掩蔽と太陽系固氣存在問題	一九
火星の軸	一九
火星の輝白點	一九
火星の觀測	一九
所謂火星の溝渠は實象か將幻影か	八五、九七、一二二
干支速算表及週曜日速算表	三七
畫家の見た月	九三
グルムゲル六十番星の視差	一〇
グルムブリッチ三十四番星の伴星	二〇
舊幕時代天文方の閱歷	一、一三、二六
共通運動をなす星群	一〇
京都帝國大學理工科大學紀要	一四〇

空間吸收質の太陽に對する運動

會員	一二八
會員關口鯉吉君	一〇
會員消息一二	七一
平山副會長消息	八三
會員逝去	一九
恒 星	
恒星の分布と其運動	六
恒星の視差	一〇、一四〇
恒星二流説の一解釋	五六
恒星の視差及光力	一〇五
高層大氣の研究	一六
光行差の常數	一七
紅焰に及ぼす太陽黑點の引力	一四一
五等星の平均固有運動	一〇四

サの部

三稜鏡附測天儀	五三
時間、空間	一〇九、一三三
新帝御踐祚	四九
新曆の利便	五〇
新 星	
雙子座新星	八、一八、三一、七〇
蜥蜴座新星の視差	三三
雙子座第二新星のスペクトル	四五、五七、八一
新星スペクトルに於ける輝線の由來	四五
バーナード氏の新星觀測	八〇
蜥蜴座新星のスペクトルと其軌道	三三
蜥蜴座新星の視差	一〇七

子午線經過の個人誤差

視線速度	八〇
視線速度曲線に於ける第二攝動	五七
A級の明星二二個の豫表的視線速度	七〇
オリオン星の視線速度	九四、一三一
素人雜話	五八
食	
四月十七日の皆既日食	三一
去る四月歐洲に於ける日食の中心線	五五
九月二十六日の月食	六八、八二
去る四月の日食に就て	六八
部分食觀測の價值	七九
日食皆既時刻の誤差	一〇四
パピロニアの古代日食	一〇四
昨年十月十日の皆既日食	一〇六
一九一二年四月十七日の金環食	一〇七
三月二十二日の皆既月食	一四〇

水星の觀測

瑞典及び日本に於ける開關論者	五五
彗 星	
彗星のスペクトル	九
彗星だより	二一
彗星發見の訛傳	四三
五月水瓶座流星群とハリー彗星	四三
彗星未だ發見せられず	五六
ホルメス彗星	五八
ウオルフ週期星(一九一一年n)の推算位置	七〇
置 臨時號	七一
一新彗星	七一
新彗星(一九一二年n)年の軌道要素及推算位置	七〇
アルクス彗星(一九一二年c)の寫眞觀測	八〇
新彗星(一九一二年n)	八二
タツル彗星の發見	九二
一九一二年n彗星	九五
一九一二年c彗星	九五
現今の彗星	一九
ウエストフール週期彗星の搜索	一四二

小惑星

小惑星一九一一年MTにつき	四五、六八、八〇
最新發見の小惑星	五八、一三〇
消失星六つ七つ	四六
スペクトル	
蜥蜴座新星のスペクトル	九
雙子座第二新星のスペクトル	三三
蜥蜴座新星のスペクトルと其軌道	四五、五七、八一
新星スペクトルに於ける輝線の由來	四五
白鳥座D星のスペクトル	五七
星の光力密度とスペクトルとの關係	一〇五

星 雲

琴座の環狀星雲の組成	一九
星雲及星團の新寫眞	二八
空	
異状なる空の色	八三
空の背景の明るさ	一〇五
太陽に接近せる空の明るさ	一三〇

タの部

太 陽	
太陽常數	一八
太陽黑點及び白紋の觀測	一九
太陽の斑點と氣象との關係	二五
太陽の光度	三五
太陽系の進化、螺旋説と捕獲説	四一
太陽斑點の正視運動	四四
太陽常數と氣象變化との關係に就て	九四
太陽彩球中ラザウムの存在	一〇三
太陽分光寫眞に就て	一二四
空間吸收質の太陽に對する運動	一三八
太陽に接近せる空の明るさ	一三〇
太陽研究萬國同盟	一四一
紅焰に及ぼす太陽黑點の引力	一四一

地光の起因	五六
地軸の變位	六八
晝間及夜間に於ける時刻測定の誤差に就て	八九
重力の吸收	一二七
仁川觀測所の經度測星	一四二
月の單色寫眞	七九
天皇崩御	四九
天王星	三二
天王星の形と質量	三二
天王星の自轉時間	四三
天文學者	二一
平山教授の渡歐	七一
ボアンカレ教授の死去	九二
ハンリー、ボアンカレ氏小傳	九二
ケブレ	九二
ボツス氏の計	一一六
ダーウキン教授の計	一一九
ルキス、スワイフト氏逝く	一四二
天文學會	二〇
日本天文學會御八回定會記事	二一
四十四年度學會報告	二一
日本天文學會記事	一〇七
天 圖	
五月の天(恒星時十二時の天象)	一一
六月の天(恒星時十四時の天象)	二四
七月の天(恒星時十六時の天象)	三六
八月の天(恒星時十八時の天象)	四八
九月の天(恒星時二十時の天象)	六〇
十月の天(恒星時二十二時の天象)	七二
十一月の天(恒星時二十四時の天象)	八四
十二月の天(恒星時二時の天象)	九六
一月の天(恒星時四時の天象)	一〇八
二月の天(恒星時六時の天象)	一二〇

三月の天(恒星時八時の天象)	一三二
四月の天(恒星時十時の天象)	一四四
東京正午砲	四六
東京正午砲の精度	五五
東京正午砲の移轉	一八
最近東京正午砲の成績	一四二
時計會社の觀測所	一四二
土星の觀測	一四二
ナ の 部	
長崎報時球	四
二重星の質量	六九
日本に行はれたる時刻法	一一、一三五
日食(食を見よ)	六九
ハ の 部	
巴里學士院の賞典	一三〇
日出前の綠光の觀測	八一
訃音	二一
ボアンカレ教授の死去	七一
ボツス氏の計	一一六
ダーウキン教授の計	一一九
會員逝去	一一九
ルキス、スワイフト氏逝く	一四二
分光器の連星	一〇五
雙子座γ星は異常の長き週期を有する分光器連星なり	一〇五
分光器の連星蠟座β星に就て	一一八
プラトヒス經著作の年代	一二六
變光星	九
奇異なる變光星	九

ペルセウス座の一變光星(或は新星)	九
變化する赤色變光星白鳥星W X星	五七
興味ある變光星	六九
疑はれた變光星 221912 Gemina	六九
變光星ミウの光度計觀測	八〇
北極星の變光性	九四
ペラミー氏の調査	八二
ペルセウス座	
ペルセウス座α星の一變光星(或は新星)	九
ペルセウス座α星の週期及其軌道	一〇四
ペルセウス座β星の軌道	一〇四
北極光?	一三〇
本邦海岸水位の昇降と緯度の變化とに就きて	七三
報 時	
長崎報時球	四
無線電信による時刻報知	七〇
無線電信による時刻報知に就て	七五
マ の 部	
眞面白なる方法	三四
ミウの視差及固有運動	一〇
水澤の觀測所	一七
無線電信	
無線電信の一應用	五八
無線電信による時刻報知	七〇
無線電信による時刻報知に就て	七五
木星の赤斑の位置の變位	六九
ラ の 部	
流星	
ペルサイズ流星の高さ	二〇
ピエラ流星群の觀測	二〇
流星觀測報告	三四

五月水瓶座流星群とハイパー群	四三
大流星の觀測	四五
大流星の古記録	四五
獅子座流星の古記録	六一
一九一一年八月のペルサイズ流星の觀測	七〇
ペルセウス座流星群につきて	九四
流星群	
八三、九五、一〇七、一一九、一三一、一四三	
曆	
曆の改革	一八
曆中改正	六七
大正二年曆の發行	九三
大正二年朝鮮曆	一〇三
大正二年各種曆對照表	一〇六
惑星	
水星(サの部にあり)	
火星(カの部にあり)	
木星(マの部にあり)	
土星(タの部にあり)	
天王星(タの部にあり)	
小惑星(サの部にあり)	
惑星のアルベードと光輝	一四一
惑星だより	
八四、九六、一〇八、一二〇、一三二、一四四	
掩 蔽	
星の掩蔽觀測	一一、四七
星の掩蔽報告	
八三、九五、一〇七、一一九、一三一、一四三	